

報道機関各位

小ギクの省力的生産技術の検討会を開催します

(いばらき農業アカデミー 令和6年度品目別先進農業技術講座)



小ギクは、主に7月の東京盆、8月の旧盆、9月の彼岸向けといった物日需要が高い花きで、県内では、赤・白・黄色を中心とした多くの品種が栽培されています。本県は全国的にも重要な小ギク産地であり、東京都中央卸売市場における本県産小ギクの夏秋期（7～9月）のシェアは全国第1位となっています（R6年：31%）。

しかし、小ギクは限られた需要期に合わせて栽培するため、特定の時期に労力が集中することから、省力化に向けた取組が重要です。また、産地では、物日需要に合うように適期出荷に努めていますが、その年の天候や栽培状況等によっては開花時期が合わないこともあるため、出荷調整可能な技術開発も必要です。

そこで、園芸研究所では、省力化に向けた機械導入による栽培技術や、採花後の出荷時期調整技術の開発に取り組み、この度、生産者や関係機関に対して、本技術を紹介する検討会を開催することといたしました。

つきましては、是非、取材して頂きたい、ご案内いたします。

【日 時】 令和6年12月13日（金） 14：00～16：00（受付開始 13：45）

【場 所】 茨城県農業総合センター園芸研究所 大会議室
受付場所：園芸研究所 1階ロビー（正面玄関から入って正面）
〒319-0292 笠間市安居3165-1

【参集範囲】 県内花き生産者、農協、茨城県農林振興公社、県関係機関等
40名程度

【内 容】 1. 小ギク作業機械化に向けた栽培技術に関する試験結果紹介
2. 出荷時期調整技術に関する試験結果紹介
3. 県オリジナル小ギク品種の紹介



写真1 小ギクの機械植えによる省力化



写真2 7月東京盆向けの県オリジナル小ギク新品種「ひたち24号（仮称）」



【お問い合わせ先】 茨城県農業総合センター園芸研究所

研究調整監 寺門 巖
花き研究室長 喜多 晃一

TEL 0299(45)8340、FAX 0299(48)2545、E-mail：i.terakado@pref.ibaraki.lg.jp